

エスレベル®（袋）

「エスレベル」は、高炉セメントの特長を生かして開発された高流動・高強度・高耐久のセルフレベリング材です。一般住宅から大空間の建造物、フォークリフトの走行する工場床、改修工事等、幅広い用途に活用できます。



製品の特長

- 荷姿
荷姿は紙袋（25kg 入）です。現場では所定量の水と練り混ぜるだけで安定した S L 材が作れます。
- 高流動
フロー値が非常に大きく、水平流動性に優れます。
- 流動性保持性
6 時間の可使用時間があり、年間を通じて安定した流動性を有します。
- 高耐久
材齢 28 日で 35N/mm²程度の強度が発現します。

主な用途

- ◇ 戸建、集合住宅等の屋内床下地調整材
- ◇ 学校、病院、特養施設、店舗等の床精度の高い大空間の屋内床下地調整材
- ◇ 工場、倉庫、屋内駐車場等の重量物が作用する屋内床下地調整剤
- ◇ P タイル、フローリング、長尺シート、塗り床等の床下地調整剤

一般的な施工手順

- 1 下地清掃
- 2 アタリ出し
- 3 プライマー塗付
- 4 エスレベル打設
- 5 養生
- 6 仕上げ材施工

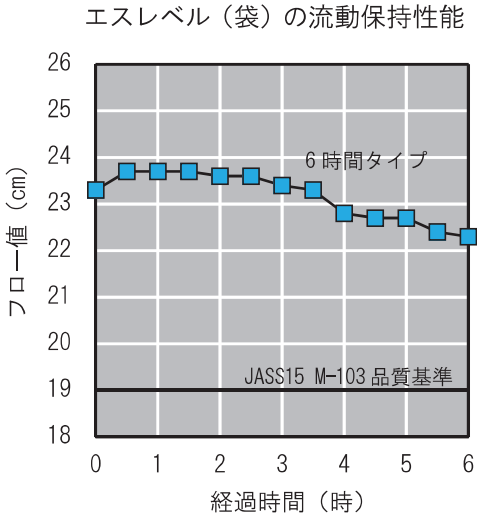
- 1 下地の清掃は掃除機等を使用してホコリやゴミを十分に除去して下さい。
・ レイタンス、油分、突起物、雨打たれ等の脆弱部は完全に除去して下さい。
・ 壁の立ち上がり部、床下電気配線孔等の空隙は十分に目止めて下さい。
- 2 特に高いレベル精度を必要とする場合には、1.0 ～ 1.5m 感覚でアタリを出して下さい。
・ アタリに補修材やモルタルを使用する場合は、アタリにもプライマーを含浸させて下さい。
- 3 プライマーには、弊社専用品を使用して下さい。
・ プライマーの希釈方法、塗付方法等については、弊社プライマーカタログを参照して下さい。
- 4 エスレベルの練混ぜは、弊社指定の方法で行って下さい。
・ 打設は、隅から順に墨やアタリに合わせて流し込み、トンボ等で均して下さい。
・ 打継ぎ部はトンボ等でタッピングして材料を馴染ませて下さい。
・ 最適な施工厚みは 10 ～ 15 mm です。15 mm を超える場合は、養生（防風・日射対策）を施して下さい。また最低施行厚みは 5 mm 程度です。
- 5 硬化するまでは、窓等の開口部を閉めて、通風と乾燥を防止して下さい。
・ 直射日光やジェットヒータ等の温風が当たらないように養生して下さい。
・ 通常は施工翌日に軽歩行が可能ですが冬季は硬化が遅れる場合があります。
- 6 床仕上げ材の貼り込みは、仕上げ材施工者との相談の上時期を決定して下さい。
・ 常温での貼り込み時期は、打設 7 日～ 1 ヶ月以内が適当です。
・ 塗り床の場合は、打設 3 ～ 7 日を目安にポリッシャー掛けして下さい。

標準的な配合

	練混ぜ水量	エスレベル（袋）	練上り量	1m ³ に相当する袋数
6 時間タイプ	5.3kg/ 袋	25.0kg/ 袋	約 14.0L/ 袋	約 71 袋

エスレベル（袋）の物性値

		20℃試験値	JASS15 M-103 品質規準
		6 時間タイプ	
練混ぜ水量		5.3kg/ 袋	—
密度（g/cm ³ ）		2.15	—
フロー値（cm）		23.3	19 以上
終結時間		15:00	20 時間以内
圧縮強度 （N/mm ² ）	7 日	25.3	—
	28 日	41.0	20 以上
接着強度 （N/mm ² ）	下地	2.06	0.7 以上
	表面	1.25	0.5 以上
長さ変化率（％）		0.029	0.12 以下



※上記の物性値は恒温室内で試験した測定例であり、性能を保証するものではありません。
また改良のため予告なく変更する場合があります。

練混ぜ方法・注意

- ・練混ぜ水の水量は、1 袋（25kg）に対して 5.0 ～ 5.6kg です。
練混ぜ水には油、塩類、有機物等を含まない清浄な水を使用して下さい。
- ・練混ぜには、高速グラウトミキサまたは回転数 1000rpm 以上の高速ハンドミキサをご使用下さい。
練混ぜ時間は概ね 2 ～ 3 分程度です。
- ・季節や使用ミキサの種類等によって、練混ぜ後の流動性が変化します。
所定の流動性を確保するため、水量範囲内で適切な水量を調節して下さい。
- ・冬季に十分な流動性が得られない場合には、練混ぜ水に 20 ～ 30℃ 程度の温水を使用して下さい。

その他の注意事項

- ・本製品はセメントを使用しており、水と接触すると強いアルカリ性を示します。
取扱いの際には、安全データシート（SDS）をお読み下さい。
- ・屋外や水のかかる部位への施工は行わないで下さい。
- ・特殊な下地への施工や特殊な用途、その他ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。

（2024 年 6 月 1 日改定）

日鉄高炉セメント株式会社

東京グループ	〒103-0024 中央区日本橋小舟町 12 番 7 号（日本橋 MM ビル 4F）	☎03-6856-0947
名古屋グループ	〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4 丁目 26-13（ちとせビル 8F）	☎052-485-5748
大阪グループ	〒541-0041 大阪市中央区北浜 4 丁目 8-4（住友ビルディング第 4 号館 2F）	☎06-7669-6410
九州グループ	〒812-0025 福岡市博多区店屋町 5 番 18 号（博多 NS ビル 2F）	☎092-283-0311
本社SL事業部	〒803-0801 北九州市小倉北区西港町 16 番地	☎093-563-5118